

2020年5月27日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- ネタニヤフの裁判・イスラエルに対する脅威・アフリカで高まる緊張ほか -

<https://youtu.be/rxpVSaaoe8o>

今日は、いろいろなこととお話ししていきます。まずは、ネタニヤフの裁判に関する出来事から始めます。それから、エジプトとエチオピアについて、少し話をします。

アフリカ大陸で、多くのことが起きています。エチオピア人が、ナイル川の再生ダムを開設させて以来、緊張が高まっています。これは、基本的にエジプトへのナイル川の流れをせき止め、または、少なくとも、エチオピアから来るナイル川の一部、そしてもちろん、最終的にエジプトの農民に届く水量が大幅に低下します。また、非常に興味深い、暗号化された絵についてもお話しします。イランの大統領が、アル・クッズ・デーに公開したものです。彼らが毎年祝う、“エルサレムの日”です。彼が何を言おうとしているのかを見てゆきます。それからまた、ペンテコステについてもお話しします。ヘブライ語の旧約聖書、トーラーの7週の祭りです。それから、今日の出来事から、少しお宝を見つけます。

皆さん、まずはネタニヤフの一件から始めましょう。皆さんご存知の通り、日曜日にイスラエルのメディアが大騒ぎしました。イスラエルの歴史上、初めてイスラエルの現役首相が法廷に立ち、実際に、3つの告発が汚職裁判に持ち込まれています。詐欺と背任の2つ、それと3件目は、贈収賄、詐欺、背任行為です。説明させていただくと、3件とも私は丁寧に調べました。私が弁護士であるとか、何でも知っているというわけではありません。しかし、私は非常に有名な弁護士たちと、イスラエルの法律を扱っている非常に重要な人を知っていて、ここで見られるのは、前例を作っているのだという点で、全員が一致しています。つまり言い換えれば、今まで、このようなケースで告発された人はおらず、ネタニヤフを見せしめにしているのです。きっと皆さんは不思議に思っているでしょう。おそらくイスラエルの歴史の中で、唯一の最も成功した首相。彼は、我々を、ほとんど何もない状態から、世界で8番目の最強国家にしたのです。文字通りイスラエルの経済を回復させ、イスラエルの軍事を回復させ、そして、技術、医療、サイバーセキュリティ、他の多くの場所、他の多くのことで、世界中のイスラエルの強さを回復させた人物です。それがなぜ、こんなに多くの良いことをした彼を取り上げるのか？この人は勲章を受けた兵士です。彼はイスラエルの最高司令部隊の将校で、イスラエルの戦争で負傷しました。彼の兄は、1970年代後半にウガンダのエンテベで、人質解放作戦の指揮官を務めました。そこで、皆さんは疑問に思うでしょう。なぜ、司法制度や警察の一部が、現実とは全くかけ離れた告発を持ち出すのか？これまで、誰もイスラエルで起訴された事がないような事、首相となれば確実に。

1つ目は、彼が親友からもらったプレゼントに関するものです。また彼は大変裕福な人でした。プレゼントが何であったかご存知ですか？シャンパンと葉巻ですよ。ところで、イスラエルの司法長官がやったことは、…ところで彼は、ディープステートに人質にされ、ネタニヤフを狩るように命じられているのです。彼は、その裕福な一族からのシャンパンや葉巻全部の消費を取り上げて、そして、まるでその全てをネタニヤフ一家が受け取り、消費したかのようにして、彼に被せました。さて皆さん、理解してください。たぶん一晩に3~4時間しか眠っておらず、ほぼ週7日働いていて、世界でおそらく最も問題の多い地域で働きづめの首相が、仮にシャンパンと葉巻の箱を受け取りたいなら、ちなみに友人からですよ？友情は証明されています。そして、彼は友人に何の見返りも与えていません。ところで、それもまた証明されています。それなら、私は問題があるとは思えません。彼はお金を受け取っていません。彼は、その人の問題をどこにも展開していません。それは純粋な友情であり…、意味が分かりません。ただ、彼らはこれを非常に大きく見せました。なぜなら彼らは、大金持ち一家の経費全部をネタニヤフ一家に押しつけ、まるで、彼らが全てを奪ったかのように見せたのです。これはめちゃくちゃで

す。2つ目は、イスラエルの最大手新聞社の編集長との面会です。これはイスラエルでナンバーワンの新聞社です。また、彼らは多くの人に読まれているだけでなく、イスラエルで反ネタニヤフを吹聴しています。彼らは何らかの取引の話をしていて、ネタニヤフは、実際にその取引に反対していただけでなく、その人物を録音して、警察に渡してもいました。取引はお金とは全く関係がなく、何の関係もありません…。実際、その新聞の編集長は、ネタニヤフに別の新聞を止めさせようとしたのですが、その新聞は、実は親ネタニヤフで、ネタニヤフはそれを拒否しました。3つ目は、ネタニヤフが通信会社の大物を助け、その見返りに…よく聞いてください。お金ではなく、ポジティブな報道を受けたというのです。ポジティブな報道。ちなみに、ネタニヤフはポジティブな報道をされた事は一度もありません。アメリカ人が、「トランプ大統領がCNNから肯定的な報道を受けた」と言うようなものです。ちょっと…、現実離れしているように聞こえますが、まさにその通りです。皆さん、ネタニヤフは、誰からも一銭も受け取っていません。ですから、贈収賄は見られません。贈収賄については、起訴されるのは受け取り側だけではありません。送った側、会社も起訴されます。しかし彼らはされていません。皆さん、私がここで言いたいのは、ディープステートが、ネタニヤフを追い出そうとしているのです。理由はただ一つ。ネタニヤフが、彼らのリズムに合わせて踊らないから。ネタニヤフは、彼らのリズムに合わせて踊っていません。彼は国土をあきらめていません。彼は、イスラエルの権利を放棄していません。パレスチナ人に国家を与えるために、イスラエルを、すべてから剥ぎとりません。いいえ。全く違います。ネタニヤフは、イスラエルの存在権、イスラエルの周りの敵と戦う権利をしっかりと主張しています。そして、彼は今、中東の新しい地図の設計者であり、スンニ派諸国がイランに敵対して、我々の味方になっています。だから、ここに興味深いものがあります。ネタニヤフは知っているのです。もし彼がエルサレムの旧市街、エルサレムを首都とするパレスチナ国家を作るために、パレスチナ人の求めていることをすべて与えていたならば、彼はメディアに聖人として守られ、彼らは彼に触れません。彼らは、彼にそれを申し出たのです。「我々の求める事をしろ。」彼らはリベラルで、超、超革新的ですから、彼らが望んでいるのは、イスラエルが衰退してパレスチナ人が国家を持つことだけです。パレスチナ人が西岸やガザだけでは、絶対に「はい」と言わないことは、誰もが知っています。彼らの地図は、イスラエル全部です。彼らにとっては、それが全てなのです。ちなみに、パレスチナ人自身が信じ込んでいるその嘘は、かつて、イスラエルを憎んでいたアラブ諸国からのもので、彼らは今、我々の味方です。だから、非常に興味深い事が起こっています。皆さんに知らせたいのは、まさに、彼らがドナルド・トランプを嵌めようとして、嵌められなかったのと同様、フリン將軍を嵌めようとして、ならなかったのと同様、彼らは、ディープステートのリズムに合わせて踊らなかった、かなりの数のイスラエルの政治家を嵌めようとしてしましたが、複数の人が、最終的に無実が証明されました。しかし、彼らの政治家としてのキャリアは、すでに完全に失われました。これはまさにネタニヤフが恐れていたことで、また、彼は言いました。「私は首相になるために戦う。なぜなら私が辞任した瞬間に『汚職疑惑』が起こり、そして私は2~3年の間、法廷で彼らと戦い始め、それから私は無実となり、その頃には私の政治家としてのキャリアは失われている。それが彼らの望みだ。彼らは、首相職を乗っ取りたいのだ。」つまり私が言いたいのは、これは戦いであって、これは戦争です。ちなみに、イスラエル国内の2つの部分です。一つの部分は、メディアに完全に洗脳されていて、そして、もう一部分は策略があり、詐欺があることを理解していて、ディープステートが深く関与していることを理解しています。この領域においては、イスラエル人は簡単には騙せません。結果は、いずれ分かります。ネタニヤフに関しては以上です。彼は腐敗していません。彼らは試みましたが。さて、個人として私は彼が大好きか？よく分かりません。私は個人的に、彼と親友になるとは思いませんが、投票しないというのは…同様に、ドナルド・トランプを批判する人の事も、私は全く理解できません。その人が良い人かどうかで、一国の指導者に投票するものではありません。私は、アメリカの大統領が少々横柄だったとしても構いません。彼が優秀な大統領で、国民の問題に気を配っている限り、気にしませんよ。すぐに人を怒らせるとか、他の人よりツイートが多いとか、どうでもいいことです。私は気にしません。彼が良い指導者として結果をもたらしてくれるならば、私は彼に従います。ほら、リーダーは、あなたがたの気分を良くする為にいるものではありません。彼らがそこに居るのは、統治し、君臨し、良い経済を与え、そして、出来る限り平和と安全を与えて、善良で道徳的な方法で治める為です。そして、私たちが見ているのは…ほら、皆さん、これは悪と善の戦いであり、そして、それが世界中の多くの国で起こっ

ています。私たちはそれを見て、感じて、それに気づいています。それが世界中で起こっていて、私たちはそれを見ています。彼らは善を悪と呼び、悪を善と呼び、光を闇と呼び、闇を光と呼ぶ。ただただ信じられないことです。彼らは完全に、既に、激しく惑わされています。ジョー・バイデンを見ていると、彼の全てが、「彼を大統領にしてはいけません！」と告げています。しかし、あまりにも多くの人々が、結果を見ていながら…。3年以内に、アメリカ経済が素晴らしい回復を遂げました。COVID-19のことは忘れてください。あれは、全世界を襲ったのです。しかし、あなたが見ている大統領は、3年以内に実行したのです。他の人が…。ここでは、サウンドは完璧に機能しているので、何とも言えませんが、…まだ聞こえないの？良いでしょう、とにかく私が言いたいのは…私たちが見ているのは、…何をしても、彼らの心はすでに固まっています。それだけです。

さて、今、エジプトで起こっている事に少し移りたいと思います。エジプトとエチオピアの間で。先ほど言った通り、これらは、2つの大きな国です。エチオピアは1億1千万人、エジプトは1億人を越えたばかりです。エジプトは毎年200万人、人口が増えています。2050年には、1億5千万人になるでしょう。水の一滴滴が重要であり、質の良い農地の各一平方インチが重要です。エジプトは昔と同じように、今もナイル川の水に依存しています。それがなんと、ナイルには青ナイルがあり、白ナイルがあって、誰もが知る通り、ナイル川、少なくとも白ナイルは、はるかエチオピアを通過してそこからスーダン、そしてエジプトまで続いています。何年も前から、エチオピアのナイルは、実際に他の人々に与えられていました。実際には、エジプトが頼っていると主張しているのは、1929年と1959年からナイルの水に関する協定が存在した事。ところがなんと！それらは、イギリスの植民地主義によって行われたもので、それらは、全く…。ちなみに、これらの協定は、エジプトがナイル川の75%、スーダンが25%、エチオピアは何も得られないというものです。エチオピア人が言っています。「あなたがたは、私たちが十分に利用してきたが、これまでだ。これらは、私たちが拘束する契約ではない。エジプトとスーダンを縛ったとしても、我々は縛られない。」実際、エチオピアが言っているのは、「失礼ながら、我々は一度も植民地化された事がない。」イタリア人は試み、必死で試みましたが。それは「アドワの戦い」と呼ばれ、1869年、エチオピアの兵士たちは、非常に原始的な条件でイタリア軍を打ち負かしました。彼らはエチオピアを占領して、アフリカの植民地に加えようとしたのです。そして、それとは別に…、私が間違っていなければ、2ヶ国だけ…、ええ、リベリアを除いて、ヨーロッパ諸国に植民地化されたことがない国があります。エチオピアは、そのことを非常に誇りに思っています。知っておいて欲しいのですが、エチオピア人は現在、ダムを建設して、そして彼らは2年半以内に、彼らが作った湖を埋めようとしています。しかしエジプト人は、12年～20年に引き伸ばしたいのです。なぜなら、彼らの水が即座に止まると困りますから。エチオピア人は、それに応じようとせず、ここに問題があることは明らかです。ほら、この二者の間には、敵意がたくさんあります。皆さん、理解してください。エルサレム自体でも、エルサレムの聖墳墓教会の取り分について、コプト人とエチオピア人の間で問題がありました。もちろん…、その教会がどう運営されているのか、知りたくもないでしょう。ここは、正しい場所ですらないと私は思いますが。でも、一つだけ言えることがあります。私が言えるのは、全てのことは2011年に始まり、エジプトが、ムルシヤムバラクがいて、すでに内戦状態に陥っていた時に、エチオピアはダムの建設を開始し、アッシジとの間で事態が安定し始めた2015年には、すでにダムは、そこに立っていました。今、エチオピア人はもちろん…エジプト人ができることは、国際通貨基金 (IMF) に「エチオピアに資金援助をするな」と言うことだけです。そこでエチオピア人は、自分たちのお金を使い、今、彼らは、それを現金化したいのです。彼らは、自分たちで電気を繋ぎたいのです。ほら、1億1千万人のエチオピア人の内、60%は、電気を繋げる事すら認められていないのです。エチオピアは、隣国にも電気を売って儲けたい。彼らは、自国に存在する天然資源で、お金を稼ぎたいのです。そして私たちは今、行き詰まりを見ています。エジプト人とエチオピア人はもはや、ただ話し合うだけでなく、実際に、エチオピアが兵器システムを配備するのを目撃しており、もちろん、エジプト人からの脅しもあります。そして、その理由の一つは…、ところで、これはエジプトにとって、実存的な脅威です。勘違いしないでください、皆さん、水の問題は、中東の生活や世界のその部分では、まだ、他の何よりも重要なのです。皆さん、エジプトがイスラエルとの戦争を計画していると思っているなら、その考えに別れを告げてください。実際、エジプトが持っている唯一の国境、唯一の平和な国境は

イスラエルとの国境です。彼らが、今、もっとも避けたいのは、それを破壊して、完全に混沌とした状態になることです。という事で、それに関しては以上です。

中国が負けたことも、知っておいてほしいと思います。ここ、イスラエルの海岸で、脱塩システムの入札がありました。中国人を入札に参加させることすら許さないという、アメリカからの大きな圧力がありました。ありがたいことに、彼らは勝てなかったので、イスラエルとアメリカとの大きな危機は回避されました。ポンペオ長官が、2週間前にネタニヤフを訪問した際に話したことのひとつが、そのことだったと思います。アメリカは、中国がイスラエルの各地に侵入していることを懸念しており、もちろんそれは回避されています。先週祝ったエルサレム・デーで、イスラム教徒やアラブ世界が少し怒っています。なぜなら、我々はエルサレムの旧市街の解放と、エルサレムの再統一、もちろん、エルサレムの2つの部分を祝っています。詩篇で「一つによくまとまった都」(詩篇122:3)とされているように。…どうして声が聞こえないと言っているのか、よくわかりません。ご自分の方を確認してください。他の人は私の声がよく聞こえているので。良いですね？ですから…他の人たちは音は問題ないと言っています。



もう一つ、皆さんに理解していただきたいのはイランが、アルクッズ・デーに、非常に興味深いことを発表しました。しかし、その前に7月の初めに起こる事をご説明しましょう。イスラエルは、歴史的な大きな一歩を踏み出そうとしています。それはヨルダン渓谷の併合と、それからユダとサマリアのイスラエルの入植地に主権を課す事です。さて、多くの方が少しがっかりしているようです。「これがランプ和平計画の一部であり、最終的にはパレスチナ国家をもたらずから。」さて、お伝えしますが、歴史を通して、パレスチナ人に何か提供されるたびに私たちは「はい」と言い、彼らは「ノー」と言いました。そして、そのおかげで、私たちはどんどん土地を手に入れることができました。だから我々が何に「イエス」と言おうと、パレスチナ人は「ノー」と言うことを私たちは知っています。そして、それによって私たちは、正当に先祖代々の祖国を手に入れたのです。私たちはこの2,000年間、その支配力も主権も持っていませんでした。一つ説明させてください。1917年、イギリスがイスラエル(ユダヤ人)に、パレスチナのユダヤ人の祖国を約束した時、信じようが信じまいが、当時、これはパレスチナでした。パレスチナという名は、ハドリアヌスと呼ばれる恐ろしいローマの皇帝が発明、彼は、旧約聖書のイスラエルの敵であるペリシテ人にちなんで、そう呼んだのです。

さて、お伝えしますと、1917年、パレスチナは、ユダヤ人の祖国であるはずのその土地は、今、画面に映っている通り、現在のイスラエルとヨルダンです。ヨルダンはありませんでした。ヨルダンは新しく作られた国ですから。サウジアラビアから追い出されたばかりの、ベドウィン族へ、英国が贈ったのです。ハシミテは、ヨルダン出身ではなくアラビア出身です。彼らはアラビア出身のアラブ人で、メッカとメディナを支配していました。それはヒジャドと呼ばれ、そして、こんにちのアブドラ王の先祖は、王たち、メッカとメディナのシャリフでした。彼らは、こんにちのヨルダンを望んでいませんでした。それがどう



なったかという、信じられないかもしれませんが、皆さん。皆さんは、おそらくそれすらも知らないと思いますが、何が起こったかという…これを見てください。これを隠します。1923年に何があったか見てみましょう。英国は、このパレスチナのほぼ3分の2を切り取り、ヨルダン川を越えて東にあるものは全て、トランスヨルダンと呼ばれ、それはアラブ人に与えられました。ですから、パレスチナの3分の2が、すでにアラブ人に与えられたのです。私の言っていることが理解できますか？そして、それは1947年まで、そうし

た。1947年、国連は今、ヨルダン川の西側のみに焦点を当て、そして、分割計画を持ち出します。つまり、私たちに残された、わずか3分の1の小さな部分までもが、アラブ人とユダヤ人の間で分割され、エルサレムは私たちのものではない。イスラエルの海岸の大部分、ガリラヤとユダとサマリヤは、全てアラブ人に。聖書的なものは、ほとんどすべてアラブのもので。それはアラブ人のもののはずだった。私が今、見せているものを理解していますか？私がお見せしているのは、世界は、私たちのものであるはずのものを約束していたのに、自分たちの都合で、元々私たちに与えられていたものを縮小し始めたのです。ちなみに、1920年初頭のサンレモ会議で、彼らはバルフォア宣言の実施に国際的な合意を与え、つまり、イスラエルとヨルダンの両方が法律上、ユダヤ人の祖国である、という事です。そして、彼らは、私たちからヨルダンを奪って、アラブの部族にそれを与えました。彼らは、その出身ですらないのに。そして彼らは次に、最後の残りの3分の1から切り取り始めました。注意を払ってください。エルサレムは、私たちのものではないことが分かるでしょう。ユダヤとサマリヤとヨルダン渓谷の大部分は、私たちのものではないことが分かります。ほら…上のガリラヤは全部…しかし、もちろん、ゴランは当時フランスが委任していたシリアの一部です。皆さん・・・皆さんが理解されると良いのですが…いつでも、彼らが私たちに伺わない時は、彼らは、ただ私たちから奪います。さて、1948年にイスラエルが生まれました。もう、誰も私たちから何も奪うことはできません。むしろ、今は私たちが得ています。まさにそれが起こったのです。もちろん1948年の戦時中、ヨルダンが居て、



イスラエルはそこにあり、エジプトの占領もガザ地域にありました。そして1967年が来て、皆さん、1967年の六日戦争で、イスラエルは西岸、ユダ、サマリヤ、ガザだけでなく、シナイ砂漠全体を占領しました。分かりますか？イスラエルはもはや奪われる側ではありません。今では強い国になり、実際に拡大できるようになりました。もちろん私たちはエジプトに、彼らと和平協定を結んだ時にシナイを与えました。しかし、皆さんに知ってほしい

と思います。ネタニヤフが計画しているのはヨルダン渓谷全体を取り、イスラエルに併合する事です。将来どんな配置になっても、パレスチナ人がアラブの国と国境を接することが絶対にないように。私たちは、東からも、西からも、北からも、南からも、彼らを取り

囲んでいます。ユダヤとサマリヤの内側でも、イスラエルの入植地は、すべてイスラエルの主権とみなされ、彼らは、決して本当の国家を持つことができないことを意味します。イスラエルが、ヨルダン渓谷のユダとサマリヤの入植地を併合した途端、イスラエルは、基本的にパレスチナ国家という考えを葬り去ることになります。だからこそ、私たちは今、世界の指導者やバチカン、アラブ諸国から圧力をかけられているのです。彼らは、テロや戦争、緊張が起きると脅しています。ヨルダンのアブドラ国王は言います。「イスラエルとの和平は深刻なダメージを受ける！」ヨーロッパとフランスの世界の指導者は言っています。「フランスとの関係は、すっかり変わってしまう！」これはまさに、ドナルド・トランプがエルサレムを承認し、大使館をエルサレムに移す前に世界中がやったこと



です。全く同じ事を、世界中がハリー・トルーマンにしました。彼が新しく生まれたイスラエル国家を認める前に。面白くないですか？聖書的にユダヤ人が戻る事になっていて、彼らは自分たちの国を作ることになっていました。彼らは、エルサレムを取り戻すことになっていました。彼らはユダとサマリヤに戻り、ブドウ畑を植え、その果実を食べることになっていました。しかし、敵はそれを止めようとしています！それに終止符を打て！やめろ！やめろ！やめろ！やめろ！私たちがやっていることは、今回の併合で、世が、私たちのものと考えていなかった場所で、実際どんどん空間を作っているのです。そして、非常に小さな機会の期間を利用しています。ドナルド・トランプがホワイトハウスにいて、今は自由世界のリーダーです。ホワイトハウスには、彼以上に良き友人はいません。今が正しい時期であり、これは撤回不可能です。今、彼らは、世が終わると脅しています。そうじゃありません！イスラム圏の大半が、エルサレムがイスラエルの首都になるうが、アメリカが大使館を移転しようが、気にしていないなら、ヨルダン渓谷が我々のものになったとして、彼らが気にすると思いますか？ご冗談を！？エルサレム、イスラム界で3番目に神聖な都市が、文字通りユダヤ人の首都と宣言されましたが、彼ら

は何もしてませんでした。なのに、ヨルダン渓谷とイスラエルの入植地が、全体像を変えるのでしょうか？そしてアラブ世界は、まず、イスラエルのせいにするのでしょうか？彼らは、今まで以上に私たちに必要としています。

さて、イランが…、今度はイランの話題に行ってみましょう。イランは暗号化された画像を公開しました。この画像を見てください。これはハメネイが数日前に公開した絵です。彼は、ペルシャ語のチャンネルでのみこれを行い、英語のチャンネルではしていません。



なぜなら、彼はそれを世界に見せたくないからです。これは具体的には、アラブ・イスラム世界、シーア派の世へ向けてものです。彼が何をしているかを見てください。彼が基本的に言っているのは、「見る。我々は再びエルサレムに戻って、神殿の丘で祈る！」そして彼は、非常に興味深い人物を最前列に置いています。見てください。まず、一番左は、顔が全部見えませんが、ベネズエラ大統領のマドロです。彼の後ろ、見えるでしょうか。一番左、私に近い方、彼の後ろには、下からナイフが突き出ている男が見えますか？彼は、フーシ派のリーダーであるアブドゥル・マリク・アル・フーシ。彼はイエメン出身です。その隣にいるのは、カセム・ソレイマニ將軍の後任で、その隣のアフリカ人は、ナイジェリアのシーア派の指導者です。彼の隣にはもう一人、イスラム聖戦のリーダーの男がいます。前列の一人は、もちろんハッサン・ナスララーです。その隣にいるのは、非常に興味深いことに、ハマスのリーダーであるイスマイル・ハニーヤです。

さて、なぜ、それがそんなに面白いのか？これを見てください。これは神殿の丘です。ここには、ヨルダン人がいません。ここには、サウジアラビア人はいません。スンニ派はいないし、スンニ関係であるハマスは、パレスチナ自治政府よりも名誉を与えられています。つまり、アッバス率いるパレスチナ自治政府は、そこに存在すらないのです。神殿の丘に特別な地位を持っているヨルダン人は、そこにはいません。シーア派は言っているのです。「シーア派が（…スンニ派ではなく）神殿の丘を支配する！」彼らはまた、ナイジェリアを乗っ取り、イエメンを乗っ取り、ベネズエラを乗っ取り、アメリカと戦うための拠点とする意図を示しています。皆さん、これは暗号化されていて、そして、カセム・ソレイマニの雲がアル・アクサを見ています。カーセム・ソレイマニの顔をした雲が見えます。イランは壊れています。イランは今、非常に、非常にグラグラです。そして皆さん、知っててください。ヒズボラのリーダーであるナスララーが主要前線のリーダーとなっている時、これは力の誇示ではありません。これは弱さの現れで、彼は正統性を得るために、それが必要なのです。なぜなら、彼の国が彼に耐えられなくなったからです。ほら、レバノンで起こっている事を見てください。いたる所で暴動が起きています。ヒズボラは、主要問題源と見られています。パレスチナの国旗は、一番奥の方でとても小さく書かれています。なぜなら、ここでは民族解放についての話はないからです。全ては、シーア派が全世界を乗っ取る事です。それが、この背後にある暗号化されたメッセージです。言っておきたいのですが、もし私がパレスチナ自治政府やヨルダンの指導者であるヨルダン国王だったら、とても心配になります。なぜなら、イランは……あるものをお見せましょう…見えないかもしれませんが、これがイランです。見えますか？これはイランです。これがイラク、イラクがここです。そしてサウジアラビアです。皆さん、イランはすでにイラクに渡り、ヨルダンに向かっています。ヨルダン人は慎重にならなければならない、イラン人の手が届かないようにするためには、私たちが必要になるでしょう。パレスチナ人もそうです。ハマスが引き継ぐなら、それは彼らの終わりです。皆さんにお伝えします。私たちは、ここで意思表示を見ているのです。

さて、最後に一つお伝えしたいのは、トルコがリビアで戦っています。そしてロシアは、信じようが信じまいが…ロシアは今、シリアの基地であるフメイミムを利用して、ミグやスホーイを飛ばしています。



Amir Tsarfati 皆さん、イランはすでにイラクに渡り、ヨルダンに向かっています。

す。はるばるどこまで？どこへ行くか知っていますか？彼らは今、ミグ29（戦闘機）とスホーイ24（戦闘爆撃機）を、はるばるリビアに飛ばしています。トルコとの戦いで、ハフタル將軍を助けるために。だから、シリアでは彼らはトルコと協力しているかも知れませんが、リビアでは、ロシアとトルコが実際にお互いに戦っています。滅茶苦茶です。なぜなら皆さん、一つ理解する必要があります。彼らの今後のイスラエルとの戦いは、宗教とは何の関係もなく、それは共通の利益に関係しています。ロシア人は私たちのガスを狙っていて、トルコ人は彼らを倒して、スンニ派の指導者になりたいと考えています。イラン人は、シーア派革命を望んでいます。リビアとスーダンは今、戦いの場になりつつあります。そこで見てください。エゼキエル38章が実現します。

それでは皆さん、私の好きな箇所です。私の好きな箇所は、もっと聖書のことを話す時です。現在、ペンテコステの祭りの二日前です。これは、ユダヤ人が、主から7週間待つように命じられたお祭りです。過ぎ越しの祭りの後、彼らが最初の収穫物の束を神殿に持ってきた瞬間から、彼らは7週間で数え、50日目に一緒に集まります。それは、すでに収穫の後で、主に感謝をささげます。皆さんにお伝えしたいのが、非常に興味深いことに、なぜならば、これは、約束と従順が全てです。そのことについて、福音が私たちに伝えている事を見てください。今、マタイの福音書をお読みします。24章44節。…ちょっと待ってください。では、お読みします。皆さんに見てもらいたいのですが、ごめんなさい、ルカの福音書24章44-48節です。

「そしてイエスは言われた。『わたしがまだあなたがたと一緒にいたころ、あなたがたに話したことはこうです。わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇について書いてあることは、すべて成就しなければなりません。』それからイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、」（ルカ24:44~45）

イエスが、新約聖書を持って来られなかったのが分かります。主は、実際に言っておられます。あなたが知っているすべての聖句は、成就しなければならぬ。「**それからイエスは、…**」何ですか？「**聖書を悟らせるために彼らの心を開いて（45節）**」ということは、彼らはそれまで、みことばを悟れなかったということです。彼らには聖霊がなく、聖書を悟れませんでした。それからイエスは彼らに、

「こう言われた。『次のように書いてあります。【キリストは苦しみを受け、死人の中からよみがえり、…】』（46節）

ですから、見落とすのと、書いてあるのに悟らないのとは別物です。そして、ユダヤ人でさえ聖霊を持っていないために、こんにちまだ見逃していることは、まず、メシヤは死ななければならなかったという事。その後に復活です。そして、主は言われます。「今、悟りなさい。それは必要なのです。それだけでなく、“キリストは苦しみを受け、3日目に死人の中からよみがえる”必要がある。**【その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。】エルサレムから開始して、…」（47節）**主は言われます。「ほら…わたしが死んでいれば、あなたがたは、わたしについて説教することはできない。悔い改めを説くことができるのは、わたしが生きていればこそです。だから、それはエルサレムから始めるべきだ」と。それから、主は言われます。**『あなたがたは、これらのことの証人となります。』（48節）『見よ。わたしは、わたしの父が約束されたものを、あなたがたに送ります。』“送った”（過去形）ではありません。『あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都（エルサレム）にとどまっていなさい。』（49節）**うわ。主は彼らに、これらのことを全て話しています。信じられないほどです。「約束」という言葉があり、そして主が、彼らに仰っているのです。「とどまり、待ち、忍耐しなさい。約束したものが来る。」それから、使徒の働きでは、一章でそのことが書かれています。

「…イエスが行い始め、また教え始められたすべてのことについて…」（1節）「それは、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じた後、天に上げられた日までのことでした。」（2節）「イエスは苦し

みを受けた後、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。四十日にわたって彼らに現れ、神の国のことを語られた。」（3節）

ちなみに、主は弟子たちに待つように言われましたが、彼らはエルサレムで待っていませんでした。弟子たちは、漁をしようとガリラヤに戻り、そこで主が彼らの前に姿を現されました。「使徒たちと一緒にいるとき…」そして弟子たちが、復活の主に出会ったときに、

「使徒たちと一緒にいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。『エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。（4節）ヨハネは水でバプテスマを授けましたが、あなたがたは間もなく、聖霊によるバプテスマを授けられるからです。』（5節）そこで使徒たちは、一緒に集まったとき、イエスに尋ねた。『主よ。イスラエルのために国を再興して下さるのは、この時なのですか。』（6節）イエスは彼らに言われた。『いつとか、どんな時とかということは、あなたがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をもって定めておられることです。』（7節）しかし、あなたがたは…』

イエスが言われるには、「その為にあなた方はここにいるのではない！」主が言っておられるのは、基本的に「ほら、今はイスラエルの国を再興する時ではない。今は、教会を始める時です。」それはあなたが知るべきことではなく、そして、

『しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。』（8節）

主は言われます。「あなたがたは、イスラエルのことしか考えてない。イスラエルのことは心配するな。わたしが今、あなたがたに与えるのは、全世界に行くための『大宣教命令』です。」これが素晴らしいのです…2章を見てください。使徒の働きで見ることができます。

「五旬節の日になって、皆が同じ場所に集まっていた。」（2章1節）

それが鍵です。一致して、同じ場所に、定められた時。定められた時があったのです。「ペンテコステ（五旬節）の日になって…」それは前日ではなく、翌週でもありませんでした。定められた時があって、彼らは正しい場所に、正しいタイミングで、正しい形でいたのです。

「すると突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。」（2節）「また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。」（3節）

面白い事に、これは、シナイ山でモーセに律法が与えられた時の描写とほぼ同じです。そしてご覧の通り、シナイ山でモーセに律法、板に書かれた律法が与えられたとき、その後、最終的に何が起こったかと言えば、彼らは金の子牛を礼拝したために、3千人の男が死にました。そして、ペンテコステの日、一年の同じ時期に、同じ形で炎のような舌で聖霊が来たとき、今度は、3千人が教会に加えられます。彼らは新たに生まれます。彼らは永遠のいのちを手に入れます。律法は殺し、御霊はいのちを与えます。皆さん、分かりますね。ご覧のとおり、彼らは聖霊に満たされていました。それが彼らに臨み、

「すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。」（4節）

そして、もうすぐ…ペンテコステのことや、そこで起こったことについて、全てを話しませんが、しかし、これだけは言っておきたいと思います。約束があり、定められた時があって、神は与えられました。彼らは特定の民族のことしか考えていませんでしたが、神は言われました。「いやいや、そうじゃ

ない。これは全世界のためだ。」それから皆さん、私の好きな預言者の一人は、預言者ダニエルで、9章では聖書によると、ダニエルが実際に祈っていた時、彼が祈っていた理由は、ダレイオスが王となった元年。彼は言います。

「すなわち、その治世の第一年に、私ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、…文書によって悟った。」（ダニエル9章2節）

ある預言者が別の預言者の書を勉強していて、時間が定まっていること、年数が定められていることを理解していました。一人の預言者を通して神が約束されていた事、それは必ず成就される。

「エルサレムの荒廃の期間が満ちるまでの年数が七十年であることを、…悟った。」（2節）「そこで私は、顔を神である主に向けて断食をし、荒布をまとして灰をかぶり、祈りと哀願をもって主を求めた。」（3節）「私は、私の神、主に祈り、告白した。『ああ、私の主、大いなる恐るべき神。あなたを愛し、あなたの命令を守る者には、契約を守って恵みをくださる方。（4節）私たちは罪ある者で不義をなし、悪を行って逆らい、…』」（5節a）

ほら、彼は御国の再興とか、そのような話は全然していません。実際に、ダニエルは、最初に国家の罪を告白しています。

『私たちは罪ある者で、不義をなし、悪を行って逆らい、あなたの命令と定めから外れました。（5節）私たちはまた、あなたのしもべである預言者たちが、御名によって私たちの王たち、首長たち、先祖たち、民衆にすべて語ったことばに、聞き従いませんでした。（6節）主よ、義はあなたにあります。顔をおおう恥は私たちにあります。今日あるとおり、それはユダの人々、エルサレムの住民にあり、また、近くであれ遠くであれ、あなたが追い散らされた先のあらゆる国々にいる、すべてのイスラエルにあります。彼らがあなたの信頼を裏切ったためです。…』（7節）

そしてその後、興味深いことに、彼は20節で言っています。

「私がまだ語り、祈り、自分の罪と自分の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山のために、私の神、主の前に伏して願いをささげていたとき、（20節）すなわち、私がまだ祈りの中で語っていたとき、私が初めに幻の中で見たあの人ガブリエルが、すばやく飛んで来て私に近づいた。それは、夕方のささげ物を献げるころであった。（21節）彼は私に悟らせようとしてこう告げた。『ダニエルよ。私は今、悟りによってあなたを賢明にさせようとして出てきた。』（22節）

覚えていますか？ イエスは弟子たちに、悟りを与えてくださいました。

『私は今、悟りによってあなたを賢明にさせようとして出てきた。あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが出されたので、私はそれを伝えに来た。あなたが特別に愛されている者だからだ。そのみことばを聞き分けて、その幻を理解せよ。』（23節）

そして、ガブリエルは、70週の驚くべき幻を与えました。面白いのは、イエスがなされたことの中で、69週目を成し遂げられたことです。そして、もちろん、主が弟子たちを送り出した大宣教命令は、69週と70週の間ギャップを埋めます。イスラエルの復興は心配なくていい。心配することはありません。主は、弟子たちに、それを言っておられるのです。今こそ、全世界に福音を宣べ伝える時です。「エルサレム、ユダヤとサマリア…あなたがたはわたしの証人となる。そして、わたしが証人たちを連れて行った後、イスラエルのために二人の証人を送る。」理解していますか？ 私たちがいなくなったら神殿ができて、そして反キリストがいて、二人の証人がここに来るのです。彼らはエルサレムにいて、神殿のそばで、主にユダヤ人に対して説教するのです。神はイスラエルを見捨てておられませ

ん。良いですか、神はイスラエルを見放していません。だからハリー・トルーマンは、あのよう投票し、ドナルド・トランプも同じように投票し、ネタニヤフも、同じことをしているのです。神はイスラエルを見放していません！しかし、その時が来て、私たちがここを出るまで、私たちの大きな使命は、もちろん、イスラエルを愛し、支え、見守ることもそうですが、しかし、私たちの御父の仕事に従事する事です。従い、出て行く。彼らは、エルサレムから始めましたが、しかし全世界の四隅までです。神のご計画は、イスラエルだけではなく、はるかに大きいのです。そう、いずれはイスラエルの救いのために、大患難が訪れるでしょう。しかし、私たちはその時には、ここから出ています。それまでは、私たちが召された目的を果たす準備をしなければなりません。皆さんに言うておきますが、私にとって、ペンテコステが何か意味があるとすれば、“大宣教命令”です。ごらんください、イエスがあの日、エルサレムに連れて来て、ペテロの言葉を聞かせた人たち。世界中から集まった人たちです。そして彼らは帰って、あちこちで教会を開拓し始めました。ローマ人への手紙が書かれたローマ教会は、実際に、ペンテコステの日に、エルサレムにいた人たちによって設立されました。つまり、使徒の働き2章を見れば分かりますが、使徒の働き2章では、ペテロの説教を聞いた時に、この人たちがどこから来たのかが特定されています。驚きです。いろいろな所から来ていたのが分かります。パルティア人、メディア人、エラム人、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、フリュギア、パンフィリア、エジプト、そしてクレネに近いリビア地方滞在中のローマ人、ユダヤ人もいれば改宗者もいる（非ユダヤ人）そして、ローマから来たユダヤ人とそうでない人たちは、ローマに戻って、テベレ川を渡った、トラステヴェレという場所で、皆さん、彼らは5つのシナゴグを設立し、そして、彼らはローマで、初期の教会を設立したのです。パウロが長い間、行きたくても行けなかった場所です。そして最終的に彼は、行った事のないその場所に手紙を書きました。ローマ人への手紙は、パウロが行ったことのない教会に宛てて書かれたもので、そこには一人も知り合いがいませんでした。ローマ人への手紙には、個人的なものは何もありません。それはただ教義、教義、教義です。その教義の中で、彼は言います。「心配しないで。神はイスラエルのご計画を持っておられます。」ローマ人への手紙11章にあります。それをよく読んでください。しかし、それまでは、ペンテコステの本来の目的に焦点を当てましょう。あなたがたは聖霊を受けました。必要なものは与えられ、装備されています。「さあ、行って、わたしの証人になりなさい。全世界に伝えなさい。わたしは、ただ死んだのではない。わたしにとって必要だったのだ。」と主は言われました。苦しみ、死に、三日目によみがえる。それがメッセージです。私たちは、生ける神に仕えています。よみがえられたメシアです。死は敗北したのです。もうトゲはありません。それまでです。もし私たちが死んだメシアを説くならば、私たちの宣教は実質のないものになります。それはもちろん、第一コリント人への手紙15章14節で読むことができます。皆さん、私が言いたいのはこれです。それがペンテコステのすべてです。主が私たちを連れて行くまで。そして主は、連れて行かれます。なぜなら、私たちは、ほら、ダニエルは、神のタイミングや約束を疑いもしませんでした。しかし、彼は自分の国に悔い改めを告げ、約束を待つことに忙しかったのです。そして励まされたのです。彼が、聖書を学んでいたからです。さて、聖書の学びをしていて、神が何かをされる事が分かるか？何でも好きな事をしますか？どうせ神はそれをするんだから？あるいは、ダニエルのように、神のために正しく生きる事も出来ます。そのために御使いが来て、「ダニエル、あなたは愛されている」と言ったのです。「なぜなら、あなたが、わたしの計画を知っているだけでなく、あなたの生き方を見たからだ。あなたは、わたしの前に願いの祈りを持って来て、そしてあなたは自国のため祈り、そして自分自身を告白します。」私たちは、自国のために祈るのを忘れていませんか？私たちは、自国の罪を示すのを忘れていました。これですよ、皆さん。正直なところ、「反キリストは生きていると思うか？」と聞かれると、私は「はい」と答えます。「あなたの生きている間に、携挙が起こると思いますか？」もちろん、そう思います。もし、パウロが、それが彼の生涯の中で起こると思っていたなら、しかも彼は、私が今日見ているものの1%も見えていなかったのなら、私は、それが自分の生きていた間に起こると、ますます確信します。私は、イスラエルは国家として、民主主義国家として存在しなくなるとは思うか？もちろん、そうでしょう。反キリストは、それを独裁政治に変え、イエス・キリストが私たちと一緒に帰って来て、神権政治に変えるのです。今の私たちが生きている民主主義は、ユダヤ人を取り戻すための段階に過ぎません。彼らを繁栄させ、反キリストの台頭に備える為です。イスラエルは民主主義にとどまりません。反キリストは、それに独裁と専制をもたらすでしょう。そして最

終的には、イエスが帰ってきた時には、神権主義になります。素晴らしい約束があります。私は非常に励まされていますよ、皆さん。私はとても励まされています。でもそれまでは、間違ったことに対処して、間違ったことにエネルギーを費やすのではなく、イエスが私たちに託してくださった宣教命令を覚えておきましょう。「行って弟子を作り、わたしの証人となりなさい。」もし大患難の最中に、まだ私たちがいるなら、なぜ主は2人の証人を送るのですか？私たちは、イエスの証人ではありませんか？しかし、私たちがいなくなると、聖霊がいなくなってしまう。その時私たちは、主がこの2千年間、私たちに命じられたように、ここで証人になるではありません。その為に、主は2人の証人を送られるのです。驚きです。だから、皆さんを励ましたいのです。神の約束は「はい、アーメン」であり、実現します！私たちは服従して、正しい場所で、正しい時に、正しいことをするのです。

父なる神様、あなたのみことばと約束に感謝します。ダニエルの言葉と、エレミヤの言葉に大いに励まされています。しかし、ほとんどが、イエスのみことばとその約束の中にあります。まだ、イスラエルを復興する時期ではありません。今こそ全世界に述べ伝える時です。イスラエル王国の復興の時は、イエスがエルサレムから君臨される時です。それまでは、いろいろなことが起こりますが、それまでは、あなたの命令を実行し、あなたの証人となる必要があります。エルサレムからユダとサマリヤ、そして世界の四隅に至るまで。私たちに力、強さ、スタミナ、それを行う喜びをお与えください。敵のあらゆる策略や罠に耐えられるように、私たちが装備してください。殺し、盗み、破壊するためだけに来る者に。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6:24~26 英語)

平和の君、イエシュアの平安、主イエスの御名によって、私たちは祈ります。

アーメン。

2つのことをお知らせします。まず第一に、ソーシャルメディアの情報を全て流しているうちに、悪質な人たちに、クローンを作られました。彼らは、ほぼそっくりなツイッターアカウントを作りました。私は62,000人のフォロワーがいますが、彼らには12人しかいません。しかし、彼らは私の写真と、非常に紛らわしい名前を使っています。彼らはアカウント名に「Israel」ではなく、「BeholdIsrael」を使用しています。インスタグラムにもアカウントを作った人がいて、「アミールのアウトリーチ」という名前です。そのアカウントは私の写真と私の投稿を使って、人にお金を要求しています。騙されないでください。いいですか？私は誰にもお金を要求しません。絶対に！いいですか、そんな手に陥らないでください。もし彼が「どうやって祈ったらいいか教えてください」とか、そんな風に近づいて来たら直ちに通報してください。これは私ではありません。私のインスタグラムは、141,000人のフォロワー、彼は2,000人です。彼は間違ったものを与え、間違ったことを伝えることで、2千人を騙すことに成功しました。これは私ではありません。そのような事が、さらに増えてくると思います。よくあることですが、しっかり警戒してください。このようなことが起こり、無実の人々が、悪魔とその手先の陰謀に利用されています。だから、気を付けてください。良いですか？そうしてください。そして、私の新刊「The Day Approaching」（現在、未邦訳）を手にするをお勧めしたいと思います。私たちが生きている時代や季節を理解する上で、本当に役立ちます。オンラインでご購入できます…ウェブサイト、もちろん私の最初の本である「The Last Hour」（現在、未邦訳）もどうぞ。こちら、

ウェブサイトでご購入できます。お勧めです。どこでもご購入できます。どこで購入しても構いません。ただ、それをお読みください。皆さん、大いに励まされ、目が開かれるでしょう。ということで、本当にありがとうございました。中東アップデートに参加していただき、感謝します。できるだけ多くの人にシェアしてください。ありがとうございます。

ガリラヤからGod bless you!!!



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.06.11 (Thu)